

# News Letter

第3号

2014, 5. 20

国際理解部

国際コースのみなさん！こんにちは！

第1回国際交流会「パラグアイの伝統楽器 アルパ演奏」はいかがでしたか？

たった1時間でしたが、私たち国際コース1・2年生160人の心は確実にルイスさんとわかさんに心を奪われました…♪

アンケートの結果ではほとんどの生徒の皆さんが「とても興味をもてた」と答えてくれました。何人かの感想をご紹介します。



2年男：アルパの音色が凄くきれいだった。ルイスさんの声もきれいで声量も凄くて感動した。世界には色々な楽器があり様々な音色があることを改めて感じた。

2年女：初めてアルパの演奏を聴きました。とても音色がきれいで楽しかったです。体験もできたら良かったなと思いました。

2年女：アルパの音色の迫力が予想以上でした！ルイスさんの歌もテクニックも凄かったです。以前ジャズフェスでルイスさんのことを見た気がします。また聴けるのを楽しみにしています。

2年女：1年生の国際交流会でパラグアイのことを知りましたが今回はさらに理解が深まりました。とても音色がきれいで歌も上手で時間があっという間でした。

2年女：生の演奏ほど良いものはないと思いました。それぞれの国で生まれた音を世界で共有するのは素晴らしいなと思いました。

2年女：「さくら」を聞いて感動した。涙が出てきた。

1年男：スペイン語も話してもらいたかった。

1年男：アルパを聴くだけで、その国の人々の様子や、どんな風景が広がっているのかが分かった。これからも他国の楽器などに興味をもって過ごしていきたい。

1年男：アルパはとても安らぎ、落ち着く音色だと思った。自然をイメージできるぐらいきれいな音色でした。

1年女：陽気な感じの曲が多くてなんとなくパラグアイの雰囲気を感じることができました。「牛乳列車」を聴いて本当に列車が走る様子を思い浮かべることが出来ました。

**1937年に日系人が初めて入植して以来、日系パラグアイ人の貢献が高く評価されて伝統的に友好関係が続き、日本は非常に高い評価を受けています。日本人・日系人約7000人が住んでおり、2007年には移住70周年記念祭典が催されました。1959年に締結された移住協定は1989年に効力無期限延長改定され、8万5000人の日本人移住者が受け入れ可能となっています。なお、1976年以来、2004年を除き、日本が最大の援助国です。**

**2011年3月11日の東日本大震災後に日本人移民農家を中心に「100万丁豆腐プロジェクト」**

**として100万丁分の原料の大豆、製造加工費を日本へ支援したそうです。**

普段は聞き慣れない国「パラグアイ」の文化を知ることが出来ましたね！今年はサッカーワールドカップ・ブラジル開催もあり、南米の国々に大・大・大注目…間違い無しですね！！！！



連絡：なんと！ルイスさんがアルパを教えてくれるそうです。今回の演奏を聴いて興味を持った生徒の皆さん！チャンスです♪是非、連絡して下さい。ちなみに女性の演奏家が多いそうですが、男が演奏するほうが格好いいので男子生徒に教えてみたいなあ〜とのことでした。習ってみたい生徒は、国際理解部の先生に声をかけて下さい！